

# 守りたい 地域医療体制

「市立総合病院と東濃厚生病院の再編について」

この地域の皆さまの生命と健康を守るため、安定した医療提供体制の整備について関係機関とともに検討してまいりました。このたび、土岐市と瑞浪市が新病院の設置主体となる東濃中部病院事務組合を設立することについて、両市議会の議決を得、6月に設立されることとなりました。いよいよ本格的に始動します。皆さまに安心いただけるよう、一日も早い新病院の開院を目指すとともに、地域医療の安定的・継続的な提供に努めてまいります。



土岐市長  
加藤 淳司

新病院建設に向け、国の重点支援区域の指定および東濃中部病院事務組合の設立と、着実に事業が動き始めました。5疾病5事業（注）にのっとり、日本の高齢化がピークを迎える2040年、さらにその先を見据えて、大学医局にご指導を頂き、また地域住民のご意見を反映しながら基本構想の策定に取り組むことが必要と考えております。より高度で機能的な病院として地域完結の医療が提供できるよう可能な限り早期の一病院化を目指します。



東濃中部医療センター  
土岐市立総合病院  
病院長 塚本 英人

（注）5疾病：がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患

5事業：救急医療、災害時における医療、へき地の医療、周産期医療、小児救急医療を含む小児医療（その他）

## 現状・課題

両市にそれぞれ同種の機能（急性期・救急対応）を持った同規模の病院がある。

### 医師をはじめとする医療従事者の不足

医師の確保ができなければ、十分な医療が提供できない。

### 医療需要の変化

人口減少、高齢化に伴う病床数、病床機能の見直しが必要

### 土岐市立総合病院

設置者 土岐市  
運営者 JA岐阜厚生連



### 東濃厚生病院

設置者 JA岐阜厚生連  
運営者



## 将来

2つの病院を再編し、両市の中間に新病院を設置することで、東濃中部地域における医療提供体制を充実させる。

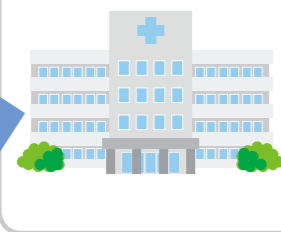
▶医療資源・人材の集約化により二次医療機能を強化できる。

▶今後の医療需要に応じた急性期病床、回復期病床を整備できる。

設置者 東濃中部病院事務組合  
(土岐市・瑞浪市)

運営者 JA岐阜厚生連

建設候補地



急性期病床・回復期病床  
400床程度



新設道路を整備

## これまでの検討状況

### 研究会

平成28年度

地域医療構想における東濃中部の医療を考える研究会

早急に当事者間による具体的協議着手が必要であると提言

### 検討会

平成29年度～令和元年度

東濃中部の医療提供体制検討会(全9回)

結論

- ・一病院化に再編
- ・建設位置は2市の中間地点
- ・2市共同の公立病院で、民間運営による経営形態

### 準備会

令和2年度

土岐市・瑞浪市病院事業一部事務組合設立準備会

設置者となる一部事務組合設立に向け、組合規約の策定、建設候補地などについて協議

### 審議会

東濃中部医療提供体制審議会

2市長の諮問を受け、新病院建設の最適地を土岐市肥田町浅野地内の土岐市有地とすることについて、異論なしと答申

### 覚書

三者による覚書

土岐市、瑞浪市、JA岐阜厚生連の3者による覚書を締結

## 今後の流れ

令和3年4月

東濃中部病院事務組合設立準備室設置

移行

令和3年6月～

東濃中部病院事務組合

市民への説明  
(広報・ホームページへの掲載、説明会の開催等)

基本構想

基本計画

設計

工事

開院